

当日、いつもの売り場での、華麗な着物業のイメージとは、一転。長い黒髪をおろされて、薄いオレンジ色のブラウスに大きめの濃い地のショールは、女性の可憐さを引き出し、山陰の秋の夜空に見事に溶け込んでいました。

### 1、(マンネリ)

当然話題は、今の着物業界のこと、景気のこと。

「全国をまわっていて思うのは、店の人がマンネリに陥っている。みんな景気が悪いというが、原因は自分たちにある。 マ・ン・ネ・リ!! マンネリを打破するには、自分のやりたくないことをやってみることね。嫌なことにチャレンジすれば80%の問題は解決口が見えてくるわよ。」

### 2、(長所を見つめる)

また、先生が着物アドバイザーとして、専門店、百貨店の外商について回っていたころの話から、人材育成法まで「着物には一点、一点、きらりと光るところがある。お客様の前で反物をひろげたとき目に飛び込んでくる、その着物の輝く部分を精一杯ほめてやる。

また、お客様とお会いした瞬間、目に入って来るお客様の光る部分をほめる。 そうするとお客様と着物が結ばれていく。 仕事を進める上で、スタッフを育てるにも、同じことが言える。 スタッフのいいところをほめてやる。 とかく部下の欠点、ミスが目につくものだが、そこは見ても見ぬ振りをする。わかっていても、小さなことは水に流す。」

### 3、(苦しいのが人生だ)

最後に、カリスマと呼ばれる Y 先生には、悩みという言葉は無関係のように見えますが…? 「何を言ってるの。私は10年来これが治らない」と言って、長い黒髪を上げられると小さな円形脱毛症。カリスマも実は神経をすり減らしながら、トップを走ってこられたんだ! 「私(池田)も、ここ(額)が大きな円形脱毛症ですワ!!」と大笑いして宴を終えました。

## ENJOY!着物コーナー

### 子供の行事あれこれ (池田10月講演会より抜粋)

#### 1、日本人の子供観 = 子は授かりもの

①人間の意志で生んだり生まなかつたり出来るものではなく、人智を超越し、天より授けてくださるもの。ことあるごとに感謝を現した。

→障害児を 福子(ふくご) 宝子(たからご)と呼ぶ。愛情をこめて育てれば一家・一族に幸せが寄り添ってくるといわれてきた

→捨て子、拾い子は神の遣わし子。常人にはできない大事業をやりとげて家族や村人達を幸福にするといわれてきた。

②「身ごもる」の「み」には→「身」、「実」、「水」の意味とともに「霊」の意味がある。最後の「霊」としての「み」は神格の意味



また「こもる」は殻のように囲まれたものに入って外界との接触を断っている状態。つまり、神の子を大切に預かるという意味

③「はぐくむ」→「くくむ」は対象を丸ごと包み込むこと。「は」は羽。羽でやわらかに包んでやるという意味

#### 2、岩田帯

五ヶ月目に白い絹か晒の布をまいて腹部を保護する。

肌を神聖にする帯という意味があり、同時に「間引き」するかを決める意味があった。十二支の戌(いぬ)の日に締めるのは、犬はお産が軽いので、それにあやかするため。

#### 3、産屋(うぶや)

神聖な血の流れるお産を家で行うのは畏れ多い。別の家(産屋)でお産をした。

#### 4、臍の緒

胎児の命の綱。竹刀で切る。竹の子の伸び方はめざましく、その竹で作った刀で切れば子供はすくすくと目覚しく育つだろうとの願いをこめて。

#### 5、宮参り

生後30日前後、氏神様に村の一員として認めてもらうため。「+」、「×」を額に書いた=あやつこ 悪い精霊をよせつけないため

#### 6、お食い初め(おくいぞめ)

生後100日目。一生食べ物に困らないように、一の膳に握り飯と焼き魚 梅と小石(神社から拾ってきた石に名前を書き、後で返す)。二の膳に紅白の餅

#### 7、初誕生祝い

「力餅」を背負わせる。早く一人歩きができますように。

#### 8、ひなまつり

三月に、草木や紙で作った人形(ひとがた)でからだを撫で、穢れのついたその人形を川に流すのが原型。「流し雛」

#### 9、端午の節句

棚に飾る武者人形 わが子を邪気より守りたい。鯉のぼり 鯉は滝を登って竜に化す出世魚。

#### 10、七五三

七つまでは神のもの

三歳で 髪置きの祝い おかっぱから結い髪

五歳 男袴を着せて碁盤の上に立たせる「袴着の祝い」

七歳 紐から初めて帯を結ぶ 帯解、帯び直しの祝い これが原型。

「ひもおとし」は山陰独特の風習。

#### 11、十三参り

数えの13歳。虚空菩薩は計り知れない知恵と福德をもたらす菩薩。虚空菩薩にあやかするためそのお寺に親子でお参りする。

男子は半元服の祝い 女子は成女として自身を着せる

